



静岡市 津波避難マップ

<長田南地区>

地震＝津波⇒『すぐ避難！』

- ・地震発生後、安全を確認できしだい、すぐに矢印の方向にある津波避難ビルや高台に向かって、避難しましょう。
- ・図面の浸水予想は、一定の条件下にもとづく想定でしかありません。浸水区域外であっても油断せず避難してください。



凡例	
	津波避難対策ライン
	避難推奨地域
	避難対象地域
	地震発生から0-10分で浸水開始するエリア
	地震発生から10-15分で浸水開始するエリア
	地震発生から15分以上で浸水開始するエリア
	津波避難ビル及び津波避難タワー
	緊急避難場所
	避難方向

: 矢印は避難方向を指しています。地震発生後、落ちてきて矢印の方向にある津波避難ビル、緊急避難場所に向かって、避難して下さい。

: 津波避難対策ライン
静岡市が津波防災に対して、対策に取り組む区域です。

: 避難推奨地域
津波が想定を超えてくる可能性があるため、避難を推奨する地域です。

: 避難対象地域
地震発生後、一目散に指定された津波避難ビル、緊急避難場所に向かって必ず避難する地域です。

※ 「静岡県第4次地震被害想定（第一次報告）」は河川内の津波浸水情報を公開してません。

※ 「静岡県第3次被害想定（安政・東海地震）」は浸水域の情報しか公開していないため、到達時間は「地震発生から15分以上で浸水開始するエリア」に表示しています。

東日本大震災の津波被害者の体験談（相澤信幸氏）平成23年8月28日

『津波被災者（宮城県名取市^{ゆりあげ}閑上（仙台空港の近く）、人口6500人）の貴重な話を4月23日用宗公民館にて伺うことができました。ぜひ参考にしてください。』

●情報が得られない

- ・ 携帯ダメ、テレビダメ、防災無線ダメで情報が得られない状態だった。だが、自動車の中では情報が得られた。
- ・ ラジオを聴いていなかった人が逃げる判断を誤った。

●動けない

- ・ 幹線道路は不通状態、信号機はストップし、渋滞が生じた。
- ・

●逃げようとしな

- ・津波が来るまで1時間あったために、家で地震の救援を待ってしまった人、逃げても家へ一旦戻った人が、多く亡くなった。

●避難所（小学校）は不自由な生活だった。

- ：着替え場所も着替えるものもなかった。タオルもないために避難所のカーテンで体を拭いた。
- ；携帯着信がたくさんあるが充電できない。
- ：最初2, 3日は食パン1枚、その後おにぎり1個である。
- ：寒さでも暖を取る防寒用具がない。ダンボール紙を体に巻いて暖を取る。ストーブが一つしかないが余震が次々と来てその度ごとにストーブを切った。
- ：トイレに困った
- ：どんどん人が来て避難所が狭くなる。

● 治安が問題になる。

- ・ 助かった家屋では火事場泥棒が見られた。死体から貴金属を盗る、自動車からガソリンを抜くなど。

● 地盤が沈下する。

- ・ 全体的に 20 c m の地盤沈下がある。最大 70 c m の場所もある。

● 原発事故で風評被害が起きる。

- ・ 当地は原発から 82k 圏で、風評被害が大きい。周辺の水産物もダメになる。

【教訓】

◎津波の想定高さに拘らず、また津波が来る来ないの判断でなく、とりあえず逃げるのが重要です。